

ピアノトリオの神髄を
満喫させてくれる名手たち

堀米ゆず子 &

ヴァイオリン

パヴェル・ゴムツィアコフ &

Pavel
Gomziakov

チエロ
Horiyome
田村響

ピアノ

Hibiki
Tamura



モーツァルト：ピアノ三重奏曲 第6番 ト長調 K.564

ショスタコーヴィチ：ピアノ三重奏曲 第2番 ホ短調 op.67

チャイコフスキー：ピアノ三重奏曲「偉大な芸術家の思い出に」イ短調 op.50

2025 **11/27** | 木 | 19:00開演(18:30開場) ● **浜離宮朝日ホール**

全席指定：S席 6,000円 A席 4,000円 | 一般発売 | 8月23日(土)

- お申込み 朝日ホール・チケットセンター 03-3267-9990 (日・祝除く10:00~18:00) 朝日ホール・チケットセンター 
イープラス eplus.jp / チケットぴあ t.pia.jp [Pコード:304-603] / teket(電子チケット)
- お問い合わせ ヒラサ・オフィス 03-5727-8830 (平日10:00~17:00)

主催：朝日新聞社 / 浜離宮朝日ホール / ヒラサ・オフィス

協力：メッツラー・アセット・マネジメント株式会社 / 株式会社JERA / 株式会社カドタ・アンド・カンパニー

※就学前のお子様はご入場いただけません。託児サービスをご利用くださいませ(要予約)。【託児のお申込み】イベント託児・マザーズ:0120-788-222

※都合により出演者・曲目等が変更になる場合がございますので、予めご了承ください。

モーツァルトの晩年のピアノトリオはいくつかありますが、あまり演奏されません。なんともつたいない！まさに光と影、光明陰影の世界なんです。今回はその中からKV564,Gdurで始めます。ショスタコーヴィチの2番のトリオは絶品です。すすり泣きから始まり絶叫、コラールを経て、消えてゆく。チャイコフスキー「偉大な芸術家の思い出に」……まさにロシア音楽の粋を尽くした名曲たちをロシア人チェリスト、パヴェル・ゴムツィアコフとピアニスト田村響さんとお届けします。

もちろん浜離宮朝日ホールの素晴らしい音響の中で！

私も楽しみ、皆様、ぜひご来場ください。

お待ちしております。

—— 堀米ゆず子（ブリュッセルにて7月末）



堀米ゆず子（ヴァイオリン）

Yuzuko Horigome, violin

1980年に日本人として初めてエリザベート王妃国際音楽コンクールで優勝を飾って以来、国際的に活動を展開。これまでに、ベルリン・フィル、ロンドン響、シカゴ響、ボストン響、アバド、小澤征爾、ラトルなど世界一流のオーケストラ、指揮者との共演を重ねる。

世界中の音楽祭に数多く招かれ、その中にはアメリカのマールボロ音楽祭、クレームルの主宰するロッケンハウス音楽祭、ルガーノ・アルゲリッチ音楽祭などがある。室内楽においては、ルドルフ・ゼルキン、アルゲリッチ、クレームル、マイスキー、今井信子、メネセスなどと共演。

2011年東日本大震災に対し、微力ながら手助けになる事を願って、ブリュッセルに於いて「復興コンサート」を震災翌年から10年間行なった。

後進の指導にも力を注ぎ、2024年までブリュッセル王立音楽院、2025年春までマーストリヒト音楽院教授を務めた。2024年に、東京大学主催の高野山会議に招かれ、高野山金剛峯寺にてバッハを演奏。2025年からは〈円融の集い場〉青少年高野山会議に参加し、普通科・芸術科の粋を超えた青少年育成プログラムを受け持つ。

多くの国際コンクールの審査委員にも招かれており、2016年5月より仙台国際音楽コンクールヴァイオリン部門審査委員長。

これまで久保田良作氏、江藤俊哉氏に師事。1980年桐朋学園大学卒業。

パヴェル・ゴムツィアコフ（チェロ）

Pavel Gomziakov, cello

「極めて印象深いデビューだった。紛れもなくこの若き演奏家には輝かしいキャリアが待ち受けている。」

（シカゴ・クラシカル・レビュー ローレンス・A・ジョンソン）

パヴェル・ゴムツィアコフは世界的ピアニストのマリア・ジョアン・ピリスにその才能を見出され、ピリスと世界各地でデュオリサイタルを行い、一躍注目を浴びた。ドイツ・グラモフォンに録音したアルバムは2009年にリリースされ、グラミー賞にノミネートされた。

2010年4月には、トレヴァー・ピノック指揮シカゴ交響楽団との協演でソリストとして華々しいアメリカ・デビューを果たし、その後、フィンランド室内管、トゥールーズ・キャピトル国立管、ロシア・ナショナル管、シアトル響、南西ドイツ・フィル、新日本フィル、関西フィルなどと共演、ゲルギエフの招きによるサンクトペテルブルクの白夜祭でも演奏した。

室内楽演奏においても他の演奏家から共演者として高く評価されており、マリア・ジョアン・ピリスの他、オーギュスタン・デュメイ、アンドレイ・コロベイニコフ等と定期的に演奏している。

田村 響（ピアノ）

Hibiki Tamura, piano

2007年ロン＝ティボー国際コンクールにおいて弱冠20歳で第1位に輝き、一躍世界に注目されるに至った。2009年ビシュコフ指揮ケルン放送交響楽団の定期演奏会にデビューし、その後の日本ツアーのソリストに抜擢された。

これまでにN響、読響、都響、東響、新日本フィル、日本フィル、仙台フィル、名古屋フィル、京響、大阪フィル、神奈川フィル、群響、Style Kyotoなどと共演。

東京をはじめ日本各地で開催されるリサイタルでも高い評価を得ている。

室内楽活動にも力を入れており、アントニオ・メネセス（故）、宮田大、神尾真由子、三浦文彰の各氏等と共演を重ねるほか、同世代のアーティストとも多数共演している。

1986年愛知県安城市生まれ。18歳でザルツブルク・モーツァルテウム音楽大学に留学。大阪音楽大学大学院修了。深谷直仁、清水皇樹、クラウディオ・ソアレス、クリストフ・リースケの各氏に師事。これまでに4枚のソロCDをリリース。

2006年第16回出光音楽賞、2015年第70回文化庁芸術祭音楽部門新人賞等、受賞多数。現在、京都市立芸術大学准教授として後進の指導にも力を入れている。

● 浜離宮朝日ホール

〒104-8011 東京都中央区築地5-3-2 朝日新聞東京本社・新館2階(TEL:03-5541-8710)

「築地市場駅」都営大江戸線(A2出口)すぐ

「築地駅」東京メトロ日比谷線(1,2番出口)より徒歩約8分

「東銀座駅」東京メトロ日比谷線／都営浅草線(6番出口)より徒歩約8分

「汐留駅」都営大江戸線(新橋駅方面改札口)／新交通ゆりかもめ(改札口)より徒歩約10分

「新橋駅」JR(汐留口)／東京メトロ銀座線(1,2番出口)／都営浅草線(改札口)より徒歩約15分

